

# 読書バリアフリーとセレンディピティー

鳥取県見えにくい人を考える会  
谷口 慎二

## 1. 読書バリアフリーとは？

- ・「視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する法律」に基づき、その名が示す通り読書に関する施策。
- ・対象は視覚障がい者だけではなく、発達障がい、本を持つことが出来ないなどの肢体不自由者、加齢などにより視覚機能が低下し、通常の本を利用することが困難になった国民のすべて。
- ・本への接し方は、アクセシブルな図書を通じて、この環境を整備しなければならないという法律。

## 2. アクセシブルな図書とは？

- ・点字本、音訳された図書(主にデイジー図書)、大活字本、画像、音声、文字などが組み合わされたマルチメディアデイジー図書、触れる本 等。
- ・アクセシブルな図書が抱える問題は発行部数が少ないこと。
- ・現在主流のアクセシブルな図書の内、一番多いものはデイジー図書。(digital accessible information system:DAISY)
- ・通常の本が出版されてから約半年後にデイジーは完成。
- ・大活字本は国立国会図書館の所蔵総数として、16,083 冊であり、過去 3 年間で増えた冊数は約 1,200 冊に過ぎない。

## 3. デイジー図書の利用法

- ・点字図書館や公立図書館で、その利用手続きをすれば借りることが出来る。
- ・デイジー図書は見た目には CD だが、普通の CD プレーヤーでは再生できず、専用の再生機が必要になる。
- ・鳥取県では、点字図書館や公立図書館でデイジー図書を貸し出す際、再生機も併せて貸し出す。

- ・デイジー図書は、サピエというインターネット上の図書館があり、そこで音声ファイル、テキストデジタルファイル、シネマデイジーなどという形でまとめられている。
- ・サピエは個人でも利用が可能であり、会員になれば、所蔵されている 80 万冊の中から個人でもそこからダウンロードして図書を聴くことができる。
- ・私は目的の本がサピエになれば、鳥取県ライトハウス点字図書館に頼んで制作していただいている。

#### 4. セレンディピティーとは？

- ・セレンディピティーとは、必ず幸運につながる偶然の出会いという意味。
- ・アクセシブルな図書を利用しても、その継続が健康寿命の延伸に寄与する。